

愛知登文会ニュース

第16号

平成28年12月27日号

1 事業実施報告「愛知登文会特別公開事業」(2016年度)

昨年度に引き続き、「国登録有形文化財 建物特別公開」を実施しました。3回目となる今年度は、県内47か所の建物を公開対象とし、専門家や所有者による建物解説(一部除く)を実施しました。建物解説には延べ1,069名の方にご参加いただき、建物見学のみも合わせると延べ1,800名以上の方々に足を運んでいただきました。ご支援ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

10/30(日)犬山市

旧堀部家住宅、小島家住宅「残月の間」、大島家住宅茶室、三井家住宅(米清旧宅)、川村家住宅、旧小守家住宅、尾関家住宅、寂光院、興禅寺、吉野家住宅

11/3(木・祝)名古屋市

東区 名古屋陶磁器会館、日本陶磁器センター、建中寺徳興殿、日本福音ルーテル復活教会、東海学園大講堂、金城学院高等学校栄光館
中区 名古屋テレビ塔、崇覚寺
中村区 簗家住宅
昭和区 鈴木家住宅

11/6(日)知多地方

半田市 小栗家住宅、半田赤レンガ建物
知多市 木綿蔵万た、知多岡田簡易郵便局、旧岡田因院(雅林邸)
武豊町 三井家住宅(大庄屋)、中定商店、旧国鉄武豊港駅転車台

11/13(日)三河地方

岡崎市 八丁味噌本社事務所、岡崎信用金庫資料館、旧本多忠次邸、旧愛知県第二尋常中学校講堂、旧石原家住宅、旧愛知県岡崎師範学校武道場、善立寺
豊橋市 愛知大学日本館(愛知大学記念館)、豊橋市民俗資料収蔵室
豊川市 トヨタテック本社社屋、白井家住宅
新城市 大野宿鳳来館・旧料亭菊水

11/19(土)尾張地方

清須市 柴田家住宅
瀬戸市 瀬戸永泉教会礼拝堂、旧山繁商店
一宮市 一宮市尾西歴史民俗資料館別館墨会館、旧湊屋、木曾川資料館

国登録有形文化財
特別公開



～特別公開の様子を写真でご紹介～

◆10月30日（日）～犬山市～

犬山城下町を中心に 10 件の文化財を公開しました。公開した建物としては、所有者の方がお住まいになっている民家が多数でした。見学者のマナーが良く、所有者にも寛容に対応していただきました。和やかな見学会となり、建物解説以外の場面で交流する様子が各地でみられました。



庭にて外観の解説（旧堀部家住宅）



主屋と土蔵の解説（三井家住宅）



土間部分を一般へ開放（川村家住宅）



古地図を見ながら解説（旧小守家住宅）



ギャラリー展示（尾関家住宅）



庫裏外観の見学（興禅寺）

◆11月3日（木・祝）～名古屋市～

東区を中心に4区 10 件の文化財を公開しました。ウォーキングイベントの「第 17 回歩こう！文化のみち」と同日に開催し、多くの方にご参加いただきました。建物解説の飛び入り参加者の受け入れや、自由見学者への解説など、解説者の方々に柔軟に対応していただきました。



大会議室の見学（日本陶磁器センター）



講堂の解説（金城学院高等学校栄光館）



地下室の見学（名古屋テレビ塔）



所有者による解説（算家住宅）



庭にて外観の解説（鈴木家住宅）



専門家による本堂の解説（崇覚寺）

◆11月6日（日）～知多地方～

3市町8件の文化財を公開しました。半数以上の建物が特別公開初参加で、特に武豊町での開催は今回が初となりました。中定商店では「たまり場 JAZZ」のコンサートや各種ワークショップが同時開催され、多くの人で賑わいました。



館長による解説（半田赤レンガ建物）



専門家による解説（知多岡田簡易郵便局）



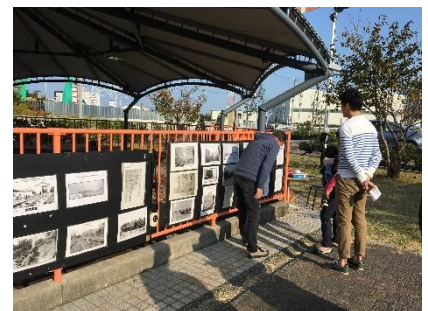
敷地内を見学（旧岡田医院）



専門家による解説（三井家住宅）



味噌の製造過程の解説（中定商店）



ボランティアによる解説（旧国鉄武豊港駅転車台）

◆11月13日（日）～三河地方～

岡崎市を中心に4市 12 件の文化財を公開しました。豊橋市での特別公開は今回が初めてでした。市をまたいでの見学が難しい地方でしたが、愛知大学旧本館（豊橋市）と大野宿鳳来館（新城市）両方の建物解説に参加される非常に熱心な方もみえました。



音楽会「音浴」（旧石原家住宅）



専門家による大工道具の解説（善立寺）



外観の解説（愛知大学旧本館）



小学校教室の解説（豊橋市民俗資料収蔵室）



改修箇所の解説（白井家住宅）



庭と内部の見学（旧料亭菊水）

◆11月19日(日)～尾張地方～

3市7件の文化財を公開しました。今回初めての特別公開となった瀬戸市では、「第31回国民文化祭・あいち2016」のまちめぐりツアーの一環として2件の建物解説を行いました。あいにくの雨でしたが、瀬戸市民を中心に多くの方にご参加いただきました。



所有者による客間の解説(柴田家住宅)



所有者による解説(瀬戸永泉教会礼拝堂)



離れ外観の解説(旧山繁商店)



専門家による解説(一宮市尾西歴史民俗資料館別館)



こどもガイドによる解説(墨会館)



専門家による解説(旧湊屋)

ご協力いただいた方からの意見・感想

(所)＝所有者 (解)＝解説者 (ボ)＝ボランティアスタッフ

◆よかったところ◆

- ・最近では若い方も歴史や古い街並、古い建物に対し熱心に勉強されていて、いろいろ質問された。楽しくお話が出来て有意義だった。(所)
- ・街の歴史、文化、暮らし方、産業などきちんと記録し、整理するよい機会になった。(所)
- ・私たち自身、「足もとの文化財」に気づいていないところがあり、今回、建築士や建築史家の方々のご指摘を受けて、改めて発見したことが多く、私たちとしてもとても多くの収穫があった。(所)
- ・普段から建物や文化財に興味を持っており、見学の機会を望んでいる客層は少なくなく、情報発信という意味でも手ごたえのある事業だと感じた。(所)
- ・イベント自体だけでなく、同じ建物にもピーターがいたことに驚き、うれしく思った。(解)
- ・続けることの波及効果を感じた。(解)
- ・ボランティアは、単に参加するだけとは違い、もう少し詳しく、また身近に聞けるので有意義だった。(ボ)

◆反省点・改善提案◆

- ・時間の調整がうまくいかず、殆ど一方的に説明に終始した。話題を絞って、質疑応答ができるようにしたい。(所)
- ・特別公開と言うからには、何か通常と違った形の公開を企画するとよい。(解)
- ・小中学校や高校などにも働きかけができるとよい。(解)
- ・もっと一般の方々に知ってもらうためのイベントや周知方法の工夫があるとよい。場所によっては位置がわかりにくいので、予約者へ詳しい情報を提供できればと思う。(解)
- ・参加人数を制限し回数を増やす方が、見学者にとっては良いのでは。(解)
- ・事前登録はその必要があるところ限定して、自由参加でよいのでは。敷居が高くなる。(解)

編集後記

本号では特別公開事業について報告いたしました。当事業は今回で3度目の実施となりましたが、まだまだ改善の余地がありそうです。「普段非公開の建物を公開することにとどまらず、意欲的な市民が何度も足を運んでくれること、協力的な所有者や解説者がいることを活かし、少しでも多くの人に、より質の良い体験をしていただけるような事業を展開していけたらと思います。

次号では、県外視察や保存・活用講座の報告をさせていただきます。

愛知登文会ニュース 第16号

発行日：平成28年12月27日

発行者：愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会
〒461-0025 名古屋市東区徳川一丁目10番3号
(一財)名古屋陶磁器会館内

TEL 052-935-7841 FAX 052-935-9592

E-mail info@aichi-tobunkai.org

URL <http://www.aichi-tobunkai.org>

FB <http://www.facebook.com/aichi.tobunkai>